


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



2月のアルミ概況および3月の見通し (1)

予想レンジ

LME 現物後場買い	2,300-2,500ドル	●
スクラップ	+10円 (前月最終価格より)	●
為替	135円~140円	円安

(1か月間TTM)

■国際概況

前半は中国・欧州の株高、米株式の堅調な足取りが買いを支援するなどプラス材料もあったが、強気な米雇用統計を受けたドル高の動きが重石となったこと、SHFE在庫の増加で中国需要回復期待も剥落。米政府がロシア産アルミに今週中にも200%関税賦課の報、などを嫌気しDOWN。

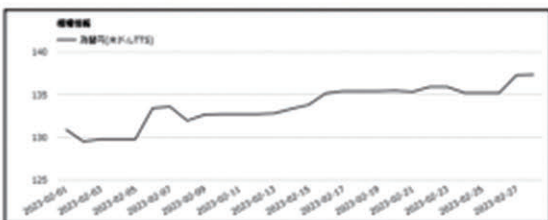
1月15日時点で2,391ドル(セツル)と月初価格が142ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は中国の景気回復期待などのプラス材料があったが米国での利上げ継続見通しを背景にしたドル買いの動き、を予想以上の米PCEデフレーターを受けた利上げ観測を嫌気しDOWN。

2月末日現在、後半スタート価格63ドルDOWNの2,304ドル。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTS)
130.90→137.33 (円)



出典 MIRU

■国内指標

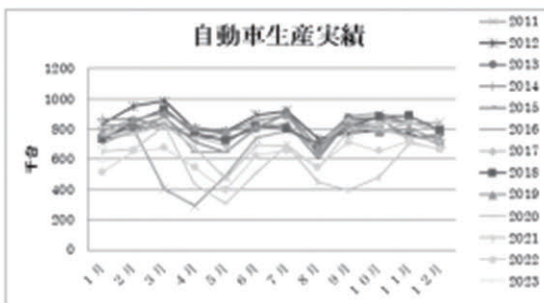
◆自動車生産台数

生産動態統計によると1月の自動車生産台数は前年比+13.4%の58万5,935台。

輸出は前年同月比-4.9%の23万7,288台。

	11月	12月	1月
生産台数	72万6648台	66万1012台	58万5935台
前年比	+9.1%	-1.3%	+13.4%

◆自動車生産実績



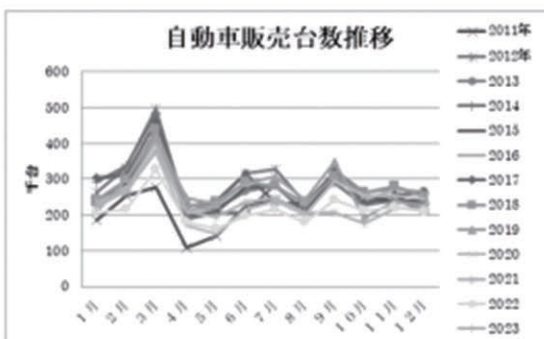
出典 生産動態統計

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると2月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+26.3%の26万9,837台。

	12月	1月	2月
販売台数	20万9090台	22万9497台	26万9837台
前年比	-4.4%	+10.8%	+26.3%

◆自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

◆住宅着工戸数

1月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比6.6%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比5.5%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は63,604戸。前年同月比6.6%増、4か月ぶりの増加。

○新設住宅着工床面積は5,075千㎡。前年同月比2.2%増、5か月ぶりの増加。

○季節調整済年率換算値では893千戸。前月比5.5%増、2か月連続の増加。

	11月	12月	1月
新設住宅着工	7万2372戸	6万7249戸	6万3604戸
前年比	-1.4%	-1.7%	+6.6%